

あとがき

昔で言う「定年退職」を迎える年齢 55 歳に 1996 年 7 月に達し、学生時代からあこがれ、夢であった全国の仏塔を全て巡礼して回ることを決心した。

勿論、暇を見つけながらコツコツと全国行脚して行き、いずれの日にか完遂できるだろうと漫然とした考えの基に始めたものであった。あれから十余年が経過し、ようやく全国の石塔を除く仏塔・総数 490 基（平成 16 年時点の統計）の巡礼を終えることができた。その中に含まれる、都道府県文化財指定 28 基・重要文化財指定 91 基・国宝指定 28 基の総数 170 基は、古くから地域に親しまれ、信仰されてきたものである。種類別内訳は、十三重塔 1 基・五重塔 22 基・三重塔 92 基・多宝塔 55 基である。

さらにこの中から、地域性を配慮した上で、百塔を選び出し、本稿を作成した。本稿作成に当たっては、行脚した先々の巡礼メモ、寺のパンフレットや各種文献から抜粋して置いたメモ等を集めて編集した。写真は、当時世の中に出始めたデジタルカメラを購入し、撮影した。カメラは、ソニーサイバーショット SDC-S85 である。最新のデジタルカメラと比較すると画素数が少ないためシャープさに欠けるが、巡礼を一緒にした今やなつかしい愛蔵品である。

本稿は、せめて私の巡礼した足跡を何らかの形で残しておこうと考えて編集したものであるが、長年に渡り眠っていたのである。それを、2014 年 4 月に、昔勤めていた会社の職場仲間である「作本好文氏」が、本稿を目覚めさせてくれた上に、建築技術開発コンソーシアムのアーカピングに掲載するよう御尽力下さったことにより、世に出ることになったことを感謝する次第である。

参考文献

- 「寺院建築」 監修 濱島正士 山下出版社
- 日本のかたち「塔」 文 桑子敏雄 山と溪谷社
- 「日本仏塔集成」 濱島正士 中央公論美術出版
- 「仏塔巡礼」 長谷川周 東京書籍
- 「宮大工千年の手と技」 松浦昭次 祥伝社

著者プロフィール

福田 弘明（ふくだ こうめい）

- 1941. 7 大阪市に生まれる
 - 1964. 3 大阪大学工学部構築工学科卒業
 - 1964. 4 八幡製鐵株式会社入社
 - 1970. 4 会社合併により新日本製鐵株式会社に社名変更
 - 1998. 6 新日本製鐵株式会社退社
 - 1998. 7 太平工業株式会社常務取締役就任
 - 2003. 6 太平工業株式会社退社・現在に至る
- 新日本製鐵株式会社では、主として製鉄所建設と建設用建材の技術開発に従事

